

《平成30年度 第2回 HIV/AIDS 症例懇話会》のお知らせ

国内の性感染症の発生動向において、梅毒の報告が男女ともに急激な増加傾向になっています。性感染症に罹患すると HIV にも感染しやすくなるため、性感染症と HIV 感染症の両方に注目することが重要です。性感染症患者への対応が HIV 感染の早期発見に繋がることも少なくありません。また、HIV 陽性者にとっては早期の治療開始が予後の改善にもなります。今回、総合病院、クリニック、検査相談室の三カ所における「HIV 感染症と性感染症」の実態について、それぞれの臨床場面や相談等の状況を踏まえご講演をいただきます。日常の診察を行う上で有用な機会になるかと存じますので、是非御参加ください。

日時：平成30年10月11日（木曜日）午後6時30分から午後8時30分まで	
テーマ：「HIV 感染症と性感染症の実際と課題について ～医療と検査相談の現場から～	
<ご挨拶> 座長：慶應義塾大学病院 感染制御部 教授 長谷川 直樹 先生 18：40～19：00	
(1) 「医療の現場から：HIV 感染と性感染症の現状について」 講師：慶應義塾大学病院 感染制御部 助教 宇野 俊介 先生 19：00～19：30	
(2) 「クリニックの現場から：クリニックで診る HIV と性感染症-梅毒を中心に」 講師：しらかば診療所 院長 井戸田 一朗 先生 19：30～20：00	
(3) 「HIV 検査相談の現場から：東京都南新宿検査・相談室での利用者の動向について」 講師：東京都南新宿検査・相談室 室長 城所 敏英 先生 20：00～20：10	
「HIV 検査相談の受検者の動向：相談ニーズについて」 講師：慶應義塾大学・南新宿検査相談室 臨床心理士 矢永 由里子 氏 20：10～20：30	
(4) 「総合討論」 講師：慶應義塾大学病院 感染制御部 教授 長谷川 直樹 先生	
会場	慶應義塾大学病院 東校舎講堂（2階） 〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35 番地 交通 JR総武線 「信濃町」駅下車 徒歩約1分 地下鉄 都営大江戸線「国立競技場」駅下車（A1番出口）、徒歩約5分
対象	医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、臨床検査技師、歯科衛生士、 MSW、カウンセラー等
申込み方法	申込書に氏名・所属名・職種・連絡先（電話番号）等をご記入の上、郵送 又はファクシミリでお申込みください。
参加費	無料
申込期限	平成30年10月2日（火曜日）
申込先	東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課エイズ対策担当 〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 電話番号 03-5320-4487／ファクシミリ番号 03-5388-1432